

担当教員 廣瀬 浩二郎	Instructor Name HIROSE Koujirou			
開講期 前期	Class Starts at 1 st Semester	開講期間 半期	Period One Semester	対象年次/ Suggested Grade 3,4,5
科目コード/ Subject Code 20DCSf08		単位 / Credit 2		
科目名称 博物館研究演習 II		Subject: Seminar II (Museum Anthropology)		
<p>授業概要：</p> <p>ユニバーサル・ミュージアムの理論と実践 / Theory and Practice of the Universal Museum</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講義と演習 ・近年の国内外におけるユニバーサル・ミュージアムの実践事例を紹介し、その社会的背景を探る。また、国連等の障害者施策の最新動向、日本の盲人史にも触れながら、マイノリティとマジョリティの共生の可能性を多角的にとらえる分析力を養う。 				
<p>教育目標・目的：</p> <ol style="list-style-type: none"> ① ユニバーサル・ミュージアム（誰もが楽しめる博物館）の意義、国際的動向について理解する。 ② バリアフリーとユニバーサルデザインの違いを知り、さわる文化と見る文化の特徴を体験・学習する。 ③ 日本の障害者史に関する知識を得、今日の障害者施策のあり方について考える力を身につける。 				
<p>授業計画：</p> <ol style="list-style-type: none"> ① ユニバーサル・ミュージアム概論 ② 日本におけるユニバーサル・ミュージアムの事例 ③ 世界各国におけるユニバーサル・ミュージアムの事例 ④ 日本の障害者史 ⑤ 琵琶法師の芸能 ⑥ イタコ・瞽女の活動 ⑦ 近代視覚障害教育の発展史 ⑧ 点字の歴史（日本編） ⑨ 点字の歴史（欧米編） ⑩ 「障害」の文化人類学 ⑪ アメリカ障害者法成立の背景 ⑫ 博物館と障害者 ⑬ バリアフリーとユニバーサルデザインの違い ⑭ 触文化展示の方法 ⑮ 触文化と博物館の未来 				
<p>成績評価：</p> <p>授業での発言内容・・・30%、 期末レポート・・・70%</p>				

実施場所：

国立民族学博物館 4 階 演習室

使用言語：

日本語

教科書・参考書：

広瀬浩二郎編『さわって楽しむ博物館』（青弓社、2012 年）、広瀬浩二郎編『世界をさわる』（文理閣、2014 年）、広瀬浩二郎著『身体でみる異文化』（臨川書店、2015 年）

備考：日本語

地域文化学・比較文化学の 2 専攻の学生のみ申請可